生涯学学習講座「歴史・自然講座」

六月に二度、生涯学習講座「歴史・自然講座」を開催しました。両講座とも、とても素晴らしく、その話のおもしろさに聞き入ってしまい、あっという間に時間が過ぎてしまいました。受講生の皆さんから、たくさん質問が出たり、講座後の感想にも、「おもしろかった」「勉強になった」「続きを聞きたい」などと書かれていて、大好評でした。できれば、このような素晴らしい講座を一人でも多くの人に聞いてもらいたいと思います。

公民館活動のキーワードは、「集う」「学ぶ」「結ぶ」です。これからも太地町公民館ではバラエティ豊かな生涯学習講座「歴史・自然講座」「一般講座」を予定しています。たくさんの人が集まって、たくさん学んで、つながりあってもらいたいと思います。

歴史・自然講座

「小野芳彦日記に見る～明治時代の結婚式～」

講師　江﨑　隆司（前太地町公民館長）

六月十八日（木）太地町公民館研修室にて開催しました。

講話は、下里高等尋常小学校長で、旧制新宮中学校（現・和歌山県立新宮高等学校）でも長らく教壇に立たれた小野芳彦さんの日記によるもので、郷土史家でもあった小野さんの明治二十四年から昭和七年に亡くなるまでの日記が残されています。新宮中学校の学校行事をはじめ、新宮の町の出来事や妻「よしの」の故郷、下里の佐藤家の商いなどを克明に綴っています。

今回はその日記の中から、玉井忠治家（色川・南平野）から佐藤儀平家（高芝）への聟入婚（明治三十二年）について日記をもとに詳細にお話をしていただきました。

「四月二十四日、午前七時過ぎに聟養子をお迎えする佐藤家の使者五人が高芝を出発。色川の玉井家で昼食をいただき、本座敷で聟殿に面会。形通りの冷酒で式を済まし、饗宴。饗宴はたいそう丁寧なものでした。玉井家を出発したのが午後四時半。玉井家の関係者とともに午後八時前に高芝に着き、双方の来賓を迎え午後十時頃、祝言が始まり、祝宴に移って、終わったのは午前二時頃でした。」

日記の原文は旧字体、旧仮名遣いで書かれ、さらに解読できない文字や空白部分もあり、判読は難解なものでしたが、江﨑先生がわかりやすく解釈してくれて、落ち着いた語り口調で朗読してくれたので、受講者十四名は熱心に聞き入っていました。

日記には「観者群衆市の如し」との記述もあり、見物客の数やその騒ぎ具合がすごかったようで、当時の結婚式がとても盛大だったことをうかがわせます。ちなみに太地町も「太地は殊に甚だしき由也」と記述があり、同様にすごかったようです。

受講者の感想を一部紹介します。

・一三七年前の結婚式、大変興味深く拝聴させていただきました。下里の歴史、佐藤家、伊達家などのおもしろい話が聞けて良かったです。次回も楽しみにしています。

・佐藤家の系図により、佐藤、浦神、伊達、中村家のつながりを知ることができました。ぜひ、小野芳彦日記の続きの講義を楽しみにしています。

・明治三十二年（一八九九年）当時の聟入婚。下里、太田、色川の景色を思い浮かべながら聴きました。「観者群衆市の如し」初めて知りました。様子がよくわかりました。

・今は籍だけ入れて、結婚式をしない人も多いのに一〇〇年余り前は盛大な結婚式をしていたことに驚きました。貴重な話を聞かせていただき、ありがとうございました。

歴史・自然講座

「クジラたちの食べ物について」

講師　荻原　成実（くじらの博物館飼育員）

六月二十四日（水）くじらの博物館に現地集合して開催しました。

講話の前半は、世界の鯨についての説明がありました。

・世界には約九十種の鯨がある。

・ヒゲクジラとハクジラに分類される。

・ヒゲクジラはオキアミやイワシなどを主食とし、海水を大量に飲み込みヒゲ板でこしとって食べる。

（ここで、実物のヒゲと荻原さんお手製のヒゲクジラのエサこしとりマシーンが登場し実演されました。）

・ハクジラは魚やイカを主食としている。

後半は実際にくじらの博物館で飼育されている九種のクジラ、コビレゴンドウ・オキゴンドウ・ハナゴンドウ・バンドウイルカ・カマイルカ・マダライルカ・スジイルカ・カズハゴンドウ・シワハイルカについて、歯の数や大きさ、食べている餌などについて映像や模型などを交えて詳細な説明がありました。また、餌についてもこだわりがあり、傷の有無、サイズ、質感で良い餌、悪い餌を見分けたり、一頭、一頭の嗜好性や体型に合わせて餌の量を決定しているとのことでした。

最後に実際にくじらの博物館で使われている容器や与えている餌を見せてもらいました。ニシン、サバ、シシャモを例に、良い餌、悪い餌の違いを手で触りながら説明してくれました。受講者は六名でしたが、熱心に聞き入り、講義が終わっても質問が続出しました。それでは、質問と、その答えを一部紹介します。

質問　たくさんクジラがいる中で餌をどうやってあげているのか？

答え　飼育員がクジラたちの種類による並びを大切にしながら、その個体の場所を決めて徐々に餌付けをし、一頭、一頭、餌をもらう場所をきめてあげる。

質問　クジラは水分をどうやってとっているのか？

答え　魚やイカなどの餌を食べることによって、水分をとっている。

質問　シシャモはオスしかあげないのか？

答え　カロリー計算の上、オスのみとし、業者から仕入れている。

質問　歯はあるが、咀嚼しているのか？

答え　基本、餌は丸のみで食べている。歯は獲物を捕らえるために使われる。

講演後は自由にくじらの博物館を散策しました。ダイナミックなクジラのショーを見たり、マリナリウムでは、生まれたばかりのマダライルカのかわいい赤ちゃんも見たりと、有意義な時間を過ごしました。

第342号
発行日　令和8年9月1日
●発行●
太地町公民館